

令和3年度久間田福祉事業報告

1. くまだ保育園事業報告

(1) 概要

令和3年度より、認可保育園くまだ保育園は、幼保連携型こども園くまだこども園として、幼稚園枠の子（1号認定の子ども）も、保育園枠の子（2号認定の子ども、3号認定の子ども）も利用できる施設となりました。施設の形態に変化はありましたが、従来からの「いっぱい遊ぶ、いっぱい食べる」の方針の基、乳幼児教育・保育を行いました。

令和3年度は引き続きコロナ禍の1年間であり、くまだこども園でも、職員、園児とその関係者などが新型コロナウイルスに罹患しました。1回の閉園を余儀なくされました。

園外に出る行事は中止いたしました。保護者参加の行事は、感染リスクを最小化するため、従来とは異なる方法で実施しました。

(2) 認定こども園化

認定こども園化し、1号認定の定員6名（3、4、5歳児各2名）に対し、3歳児1名、4歳児1名、計2名の利用でした。

認定	歳児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号（幼）	5歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	3歳	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	16
	小計	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	38
2号（保）	5歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	4歳	20	20	20	20	20	19	19	19	20	20	20	20	237
	3歳	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3号（保）	2歳	18	18	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	217
	1歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	48
	0歳	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	12
2号・3号	小計	88	88	89	88	88	87	87	87	89	89	89	89	1058
合計		90	90	91	90	90	89	89	89	91	91	91	91	1096

表 1

(3) 幼児教育・保育の実態

① よく遊ぶことについて

体を使って遊ぶことを意識し、さくらんぼリズム、鬼ごっこ、かけっこなど、発達を考慮し、室内外での遊びを工夫しました。

プール活動については、新型コロナ感染をさけるため、昨年同様実施しませんでした。水遊びをたくさん楽しみました。

② 異年齢保育について

外遊びを中心に異年齢で遊ぶ時間を設けました。

異年齢児保育の中で、遊び方の伝承、あこがれ、いたわり、譲り合うなどの気持ちが育まれました。

③ 食育について

園庭で、野菜やコメを栽培しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子どものお手伝いを自粛しました。お米研ぎ、野菜の下ごしらえなど、子どもが触った後、加熱処理ができるお手伝いのみ行いました。

④ 職員間での情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。

⑤ 臨床心理士

毎月1度、臨床心理士の鈴木智裕先生より、子どもたちの困っている事やそれに対する関わり方について、助言頂きました。また、希望する保護者に対する面談や小学校への引き継ぎ等も行ってもらいました。その際、卒園した小学生の生活や学習の状況も確認してもらい、報告を受けています。このことは、保育者の励みになっています。

⑥ 英会話

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市外在住のイギリス人、アビゲイル・ロイドさん(アビさん)と一緒に英語で遊ぶことは、中止いたしました。

(4) 地域の子育てのサポート

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の子育てのサポートとして行って

いる園庭開放は、近隣中学校の職場体験は中止しました。

(5) コロナ禍の影響

- ①令和4年2月25日（金）から3月1日（火）まで休園となりました。園内を消毒し、2月28日より代替保育を始めました。2歳児クラスについては、園児が感染したため3月5日（金）まで、学級閉鎖となりました。これらの措置は、鈴鹿保健所及び鈴鹿市役所子ども育成課の指導を仰ぎました。

職員が休憩時に、会話をしながら飲食をしていたころ、体調不良を訴えず勤務していたため、園長への危機管理能力を問われました。園児をはじめ保護者の皆様に、多大なご迷惑とご心配をかけることとなりました。
- ②各家庭で、登園前の体温や呼吸器症状の有無を保護者に確認してもらい、健康チェック表に記入し提出をしてもらいました。登園時に、保育園玄関にて、健康チェック表の確認、検温を実施しました。検温は、給食後もしました。年長児は、進学するにあたり、1月よりマスク着用の練習をしました。年中、年少児は3月2日より、保護者の同意を得て、マスクを着用しました。保育者は、毎日、マスク着用で保育に臨みました。
- ③鈴鹿市シルバー人材センターから1名派遣をもらい、机、床、壁、おもちゃ、絵本、棚、腰壁など、子どもが触るであろう所を、毎日、消毒しました。
- ④おもちゃ殺菌庫8台を購入しました。
- ⑤新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者が参加する行事はほぼ中止しました。運動会は保護者2名の参加、生活発表会は無観客で実施し、DVDを作成し配布しました。卒園式は1名の参加で、どの行事も時間短縮をしました。
- ⑥園外に出かける行事は、中止せざるを得ませんでした。比較的空間の広い鈴鹿青少年の森で、年長児がディキャンプを経験しました。自分たちで栽培した米、サツマイモを使用し、炊飯、カレー、焼き芋を調理し、1日を楽しみました。
- ⑦保育の様子を保護者に知っていただくため、保育の取り組みや子どもの様子をコメントと写真でA3用紙にまとめ、毎日玄関に張り出しました。

(6) 高花平こども園との交流

- ①交流は、感染拡大防止の観点より、ほぼなくなっています。
- ②両園の栄養士が交互に献立を作成しました。両園の園長と栄養士、調理員、保育者が、文書にて、献立の反省と検討を行いました。

(7) 環境の整備

- ①園庭の樹木が大きくなりました。ツリーハウスに利用した楠、台風で傷みがある枝垂れ桜の枝を切りました。樹形が整いました。
- ②「くまだこども園」という園名の看板を寄付して頂きました。寄贈者は、久間田保育園卒園生の河北浩峰様です。立派な木製の看板が正門横に設置されました。

(8) 行事

行事は、表 2 のとおり実施しました。また、毎月、避難訓練、お誕生、発育測定を行いました。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止した行事は次の通りです。入園式、わくわく広場、動物園見学、保育参観・給食試食・個人懇談については、中止いたしました。

7月	6日 27日	七夕会 子ども夏まつり
8月	5日 19日	交通安全教室 集団適応検査
10月	28日	運動会
11月	6日	竹馬教室
12月	1日 2日 17日	内科検診 歯科検診 クリスマス会
1月	13日	子ども新年会
2月	3日 17日 18日	豆まき会 生活発表会 生活発表会
3月	3日 23日 24日 25日 26日	ひな祭り会 内科検診 歯科検診 お別れ会 卒園式

表 2

2. 高花平こども園事業報告

(1) 概要

令和3年度より、認可保育所であった高花平保育園は、幼保連携型認定こども園の高花平こども園となり、幼稚園枠の子(1号認定子ども)も、保育園枠の子(2号認定子ども・3号認定子ども)も利用できる施設となりました。施設形態の変化はありましたが、従来からの「いっぱいあそび、いっぱいたべる」の方針の下、幼児教育・保育を行いました。

また、こども園化は四日市市の公立園であった高花平幼稚園との統合という事でもあったため、高花平こども園では子育て支援センターを新たに開設し、週3日・1日5時間の子育て支援事業を行う事となり、結果として地域の子育て支援活動の量も増えました。

令和3年度は引き続きコロナ禍の1年間であり、高花平こども園でも、園児やその関係者、職員の関係者など、様々な方が新型コロナウイルスに罹患しました。令和3年度、高花平こども園では、1回の閉園を余儀なくされました。また、園外へ出るイベントや保護者や地域参加型のイベントも令和2年度に引き続き、感染リスクを最小化するため、従来とは異なる方法で実施しました。

(2) 認定こども園化

認定こども園化しましたが、高花平幼稚園の園児が減少したところでの統合ということもあり、1号認定定員20名(5歳児10名・4歳児10名)に対し、令和3年度の1号認定子どもの利用数延べ数は、5歳児4名・4歳児3名となりました。

8時30分登園、14時30分降園で、夏休み・冬休み・春休みのある1号認定子どもを受け入れる事となり、当初は幼児教育・保育の在り方が影響されるのではないかと心配しましたが、ほぼ杞憂に終わり、従来通り、「いっぱいあそび、いっぱいたべる」生活を1年間過ごしました。

認定	歳児	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号(幼)	5歳	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	40
	4歳	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	3	3	20
	小計	5	4	4	4	4	5	4	4	5	7	7	7	60
2号(保)	5歳	20	21	21	21	22	22	22	22	22	21	21	21	256
	4歳	18	18	18	18	18	18	19	19	18	18	18	18	218
	3歳	19	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	236
3号(保)	2歳	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
	1歳	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	0歳	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32
2号・3号	小計	82	83	83	83	86	86	87	87	86	85	85	85	1018
合計		87	87	87	87	90	91	91	91	91	92	92	92	1078

表 3

(3) 幼児教育・保育の実施

① よく遊ぶこと

さくらんぼリズムや、園庭遊び、竹馬あそびなど、園内で完結する運動遊びについては例年通り行い、体を動かして遊ぶ時間の確保は昨年同様に行いました。

外部講師を招いての英語を使つての遊びは、令和2年度に引き続き、実施しませんでした。

プール活動についても引き続き行わず、水遊びをたくさん楽しみました。

② 異年齢保育

園内でのコロナウイルス感染者発生もあり、異年齢で混ざり合つて遊ぶ時間は、外遊びを主としました。異年齢で過ごして、おもいやりの気持ち・大きな子への憧れの気持ち・出来ないことに挑戦する気持ちなど、身体面だけでなく、精神面でも大きくなるため、全面的な禁止は行いませんでした。

③ 食育活動

一年を通じて園庭で野菜、田んぼで米と、様々な食材をつくりました。また、栄養士の指導の下、給食の下ごしらえのお手伝いや、収穫した食材の調理、衛生面・健康面での指導などの食育体験を行いました

④ 職員間の情報共有

子どもに対する理解を職員間で共通の物とするため、毎日のミーティングや保育中の連絡、ミーティング議事録などを通じて情報共有を行ってきました。

⑤ 臨床心理士

概ね2ヶ月に1度、臨床心理士の鈴木智裕先生に来園して頂き、子どもたちの様子の観察と子どもたちが困っていることや大人の関わり方などについて助言して頂いています。また、希望する保護者への面談や、少し気になければいけない子について小学校への引き継ぎなども行って貰いました。

(4) 地域子育て支援

- ① 子育て支援センターを開設し、地域の未就学児の子育て援助や子育て相談に応じました。毎週火・水・木曜日の9時30分から14時30分まで、102回開所しました。令和3年度は、52人の子どもが登録し、延べ255人の子ども、延べ191人の保護者が参加

しました。子育て支援センターには、高花平地区の主任児童委員、相田久美子氏も参加頂き、地域の子育て家庭の支援に努めました。

- ② 一時保育事業では、延べ38人の利用がありました。
- ③ 高花平地区社会福祉協議会福祉部の交流事業(ふれあい会や高花平小学校1年生を含めた合同ふれあい音楽会)については、中止となりました。

(5) コロナ禍の影響

- ① 令和4年1月31日(月)・2月1日(火)の2日間、園児1名が新型コロナウイルス陽性と診断され、保健所および四日市市保育幼稚園課の指導の下、臨時休園となりました。
- ② ①とは別に、令和3年度は園児数名、職員の関係者数名が、それぞれ新型コロナウイルス陽性と診断されましたが、幸いなことに園への影響はありませんでした。
- ③ 登園前・出勤前の体温チェックや発熱時の早期連絡・引き渡し、玄関先での子どもの受け入れ・引き渡し、室内の換気や消毒の徹底、大人のマスク着用、子どもの手洗い指導の徹底など、対応を引き続き行いました。オミクロン型が猛威をふるった時期に於いては、3歳以上児の可能な限りのマスク着用も行いました。
- ④ 新型コロナウイルスの影響で、親子参加行事もほぼ中止とし、親子で遊ぼう会・おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会・保護者懇談会・試食会(保育参加)は中止しました。
- ⑤ 運動会は各家庭2名、生活発表会は各家庭1名の大人の見学とし、クラス別に短時間で実施しました。
- ⑥ 不特定多数の集まる屋内施設への園外保育はほぼ無くしました。年長児のプラネタリウム見学・東山動物園見学は中止しました。遠足は、年長児は南部丘陵公園、年中児・年少児は団地内の公園へ、お別れ遠足は鈴鹿フラワーパークへ行きました。
- ⑦ 職員・保護者間での共通理解については、懇談会や保育参加ができない為、従来通りとはいきませんが、毎日の連絡ノートや送迎時での会話、お便りや掲示物などを利用して深めてきました。

(6)くまだこども園との交流

- ① 交流についても、感染拡大防止の観点より、ほぼ無くなっています。
- ② 例年通りくまだこども園と高花平こども園で給食献立を統一しています。両園園長と両園栄養士が、食育・献立について、文書で反省と検討を行いました。

(7)環境の整備

- ① 令和3年度より園舎最奥の一時保育室で子育て支援センターを開設することとなりました。子育て支援センター利用者が正門扉を開いた時に、外遊び中の園児が園外に出てしまうことを防ぐため、内扉を設置して二重扉構造としました。
- ② 4歳児室からの雨漏りが再発したため、同一構造の3歳児室・4歳児室・5歳児室を修繕しました。
- ③ 3歳児室・4歳児室・5歳児室の照度が一部不足していたため、吊り下げ式蛍光灯を直付けLED化して改善しました。
- ④ 一時保育室前の土が雨により削れ、基礎ブロックとコンクリが露出していたため、土間コンクリを打ち、修繕しました。
- ⑤ 保育室の引き戸の戸車・ガス給湯器・デジタルピアノ・電話主装置など、経年で故障した備品の修繕を行いました。
- ⑥ 2歳児室裏のウッドデッキの一部で土台が腐っていたため、修繕を行いました。
- ⑦ その他老朽化した設備・備品の交換や、使用されず放置されていた設備・備品の整備と整理整頓を行いました。

(8)行事

行事は表4のとおり実施しました。

毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、プラネタリウム見学、東山動物園見学、試食会、保育参加、保護者懇談会については、中止しました。

4月	3日	入園式
5月	6日	こどもの日の集い
6月	16日	内科検診
7月	7日	七夕会
	16日	夏まつり
10月	14日	歯科健診
11月	5日	運動会
	12日	遠足(5歳児・南部丘陵公園)
	19日	遠足(3・4歳児・団地内公園)
12月	22日	クリスマス会
1月	11日	ストライダー体験
	12日	こども新年会
2月	3日	豆まき会
	16日	生活発表会(3・4歳児)
	17日	生活発表会(2・5歳児)
3月	2日	内科検診
	3日	ひな祭り会・歯科健診
	11日	お別れ遠足
	18日	お別れ会
	26日	卒園式

表 4

3. 本部事業報告

令和3年度の法人本部の動きは以下の通りです。

(1) 令和3年度第1回理事会（令和3年5月29日）

- 第1号議案 理事長選任について
- 第2号議案 令和2年度事業報告について
- 第3号議案 令和2年度決算案について
- 第4号議案 次期評議員選任・解任委員の選任について
- 第5号議案 評議員会への次期理事候補及び次期監事候補の提案について
- 第6号議案 評議員会の招集について
- 第7号議案 理事長職務執行状況報告について

(2) 理事長変更（令和3年5月29日 澤田恭子）

(3) 令和3年度定時評議員会（令和3年6月19日）

- 第1号議案 理事・監事の選任について
- 第2号議案 令和2年度事業報告について
- 第3号議案 令和2年度決算計算書類の承認について

(4) 令和3年度第2回理事会（令和3年6月19日）

- 第1号議案 久間田福社会理事長の選任について

(5) 理事長変更（令和3年6月19日 澤田昌志）

(6) 令和2年度第3回理事会（決議の省略 令和4年3月24日）

- 第1号議案 令和3年度次年度当初予算案について
- 第2号議案 事業報告案について
- 第3号議案 令和3年度補正予算案について
- 第4号議案 育児・介護休業等に関する規則の変更案について
- 第5号議案 就業規則変更案について
- 第6号議案 給与規定変更案について
- 第7号議案 評議員選任解任委員の選任について

令和4(2022)年度久間田福祉会事業計画

くまだ保育園・高花平保育園がともに幼保連携型認定こども園に移行して1年が経ちました。保育要件が満たせない子についても、教育認定の子として係わる事が出来るようになりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、本計画作成時点で、両園共に1度ずつの臨時休園がありました。

令和4年度も引き続き、子ども達に係わる姿勢は変わることなく、自分で考える事が出来る子どもの育成を目指して、自主性・主体性を保障した幼児教育・保育を行っていきます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、より衛生的な環境での幼児教育・保育が行えるよう、環境整備や職員研修に取り組めます。「地域における児童福祉の核になる」ことを目指すのは従前と変わらず、努力し続けます。

1. くまだこども園事業計画

(1) 子どもを見守る幼児教育・保育を

- ① 個として、また、集団としての子どもの力を信じて、子どもを見守る幼児教育・保育を進めていく。保育の専門職として、子どもの姿をよく見て子どもの発達に基づいて考え、子どもの心の動きや子どもの心に生じた疑問をくみ取り、保育を発展させていく。また、保育者の気持ちを押しつけすぎず、子どもの自主性や主体性を伸ばしていく。
- ② 生活リズム、挨拶など、基本的な生活習慣を保護者・職員が一緒になって子どもに伝え合い、子育ての中で子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園作りを目指していく。
- ③ 異年齢での関わりを多く持ち、子ども同士で育ち合うような環境を整える。
- ④ 鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ⑤ 食育活動として栄養士とともに、子どもの声に基づいた食育活動に取り組む。
- ⑥ 新型コロナウイルスの勢いが止まり次第、イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 園庭開放(なかよしデー)を毎月第2、第4水曜日に行い、地域の子育て相談についてもその場で受け付ける。

- ② 一時保育は自主事業として行っていく。
- (3) 高花平こども園との交流
- ① 高花平こども園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。
- ② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。
- ③ 質の高い保育を目指し、保育士集団の質をリーダー会が中心になって進める。
- (4) 環境の整備
- ① 園舎設備や遊具の老朽化への対応を行う。
- (5) 行事予定
- ① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。
- ② 通年で試食会、保育参観、個人懇談を行う。
- ③ その他行事予定を表に示す。

4月	入園式
5月	わくわく広場・懇談会
6月	歯科検診 内科検診
7月	七夕会 子ども夏まつり
8月	
9月	
10月	運動会 遠足
11月	東山動物園見学(5歳児) 竹馬教室(4歳児)
12月	クリスマス会
1月	子ども新年会
2月	豆まき会 生活発表会 おわかれ遠足
3月	ひな祭り会 内科検診 歯科検診 お別れ会 卒園式

2. 高花平こども園事業計画

(1) 子どもを見守る保育を

- ① 個として、また、集団としての子どもの力を信じて、子どもを見守る幼児教育・保育を進めていく。幼児教育・保育の専門職として、子どもの姿をよく見て子どもの発達に基づいて考え、子どもの心の動きや子どもの心に生じた疑問をくみ取り、保育を発展させていく。また、保育者の気持ちを押しつけすぎず、子どもの自主性や主体性を伸ばしていく。
- ② 子どもに対する理解を職員、保護者で共通のものとしてできるように努める。子ども・保護者・職員の全員が共に育っていけるような園を目指す。子どもに対する理解には、鈴木臨床心理士のアドバイスを参考に、子どもの心理や行動に対する理解を、職員間、また、職員・保護者間で共通のものとして、子どもへの一貫した対応を行い、健やかな育ちを保障していく。
- ③ 新型コロナウイルス対策および、新たな感染症への予防として、衛生的な環境で幼児教育・保育を行う。
- ④ 異年齢での関りを多く持ち、子ども同士で育ちあうような環境を整える。
- ⑤ 食育活動として栄養士と保育教諭と一体となって、子どもの姿に基づいた食育活動に取り組む。
- ⑥ コロナ禍が沈静化次第、イギリス人アビゲイル・ロイドさんと一緒に英語で遊び、英語に親しむ。また、異文化で育った子どもが多数在園する園としての在り方を模索する。

(2) 地域の子育てのサポート

- ① 子育て支援センター事業を、毎週火・水・木曜日に行い、地域の未就園児及びその保護者が集うことの出来る場を提供する。
- ② 一時保育事業を、地域に開かれた保育の場として実施する。
- ③ 子育て支援センターにおいて、また、一時保育事業提供の際などに、子育て相談を受け付ける。

(3) くまだこども園との交流

- ① くまだこども園と給食献立を統一し、食育の浸透を図っていく。

② 互いの職員が互いの保育現場を見学する研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。共通の研修を企画するなど両施設の職員間の交流を増やしていく。

③ 保育の質の高い保育を目指し、両園のリーダーが中心となり。

(4) 環境の整備

① 園舎の修繕・改造を適宜行い、子どもが安心して生活できる環境を維持していく。

② 3歳以上児室へ床暖房設備を設置し、冬期の室内環境をより快適にする事を検討する。

③ 高花平幼稚園跡地に子育て支援センター棟を建設する為に、建築設計士と協議して、誰にとっても使い勝手の良い施設になるよう、検討する。

(5) 行事予定

① 毎月、避難訓練、お誕生会、発育測定を行う。

② コロナ禍が沈静化次第、保育参観、保護者懇談会を開催する。

③ その他行事を、以下の表に示す。

月	園単独行事	他団体交流行事
4月	入園式	
5月	親子で遊ぼう会	
6月	プラネタリウム見学(5歳児)	ふれあい会(地区社協)
7月	たなばた会 夏まつり	小学校体験(@小学校プール)
9月		ふれあい会(地区社協)
10月	運動会 竹馬教室(4歳児)	地区文化祭(地区社協)
11月	動物園見学(5歳児)・遠足 新入園児面接	消防署防災指導
12月	クリスマス会	
1月	こども新年会	ふれあい会(地区社協)
2月	節分会 生活発表会	ふれあい音楽会(地区社協)
3月	ひな祭り会 内科・歯科検診 新入園児説明会 お別れ遠足(5歳児)・お別れ会 卒園式	